

2022年6月特別例会報告

開催日	2022年6月11日(土)
集合場所	神立駅西口
集合時間	7時30分～50分
開会式	7時50分～8時00分
コース	神立駅→下佐谷バス停→関東ふれあいの道13 →御野立所の碑→師付の田井→恋瀬川サイクリング道 →常陸国総社(一ノ宮)→石岡駅
距離	22km
参加者	19名
天候	曇り

ウォーキング状況

前回に続き、関東ふれあいの道の第3弾です。

常磐線神立駅西口集合、現在駅周辺は整備工事中ですが、駅舎は新築され駅前大通りの歩道も広く整備されており、降りた時の好感度はかなり高くこれからのウォーキングの期待が高まります。

恒例の開会式での戸田さんの「ウォーキングがもたらす体への科学的効果」3分間講習を行い、終了後準備体操をしてスタートです。



駅前の整備された歩道を国道6号線迄、約2kmを会話も弾みながら軽快に進めた後、田舎道(地元の人ごめんなさい、ウォーカーはほめ言葉ですよ)に入り、前回下車した下佐谷バス停迄一時間の行程です。

黒い雨雲に少し心配させられましたが、ほとんど雨にも合わず。

綺麗に整備され道路脇の民家の垣根や庭、栗の花の香りを楽しみながら、

関東ふれあいの道の入口に到着しました。

茨城県13番「果樹の里のみち」は約8kmの道のりで、道の両側に果樹園が多く広がり、栗、なし、ブドウ等の木が植えられています。

今回は初夏でしたので、秋の実りを見ることはできませんでしたが、新緑の中を気持ち良く歩くことができました。



伊保田神社を過ぎ、三ツ石森林公園を横目に、立派な民家が並ぶ地帯を過ぎ果樹試験場の門が見えれば、ふれあいの道のゴールの御野立所は直ぐです。

その前にコンビニに立ち寄り昼食の買い出しとトイレをお借りしました。

ここから少し登り坂となり、銀杏の畑を過ぎると、最後の登りとなり、権現山の御野立所の碑（標高約100m）に到着です。

この碑は昭和4年に昭和天皇が軍事演習の際に訪れた記念の碑です。

かすみがうら市千代田地区と霞ヶ浦北部が一望できます。

約20分の昼食休憩後、恒例のふれあいの道チェックポイント撮影です。



撮影後、権現山を降り五輪堂バス停に進みます、今回はバスの時間が合わない
ので、その手前で師付の田井で築波山からの景色を歌った万葉集の歌を
楽しみ(?)、志筑城跡の下を通り、恋瀬川の堤防にでました。
ここで恋瀬川の名前の由来の話で盛り上がりましたが、由来には所説あり

石岡市史によれば

江戸時代の名「鯉川」は「国府川」(こうがわ)の訛であり、国府川が「
国府瀬川」(こうせがわ)となり、「恋瀬川」となった

恋の名がつくことから、歌でもうたわれていて

1984年 八代亜紀 恋瀬川
2008年 中村美律子 恋瀬川



恋瀬川の堤防 恋談義に花咲く？



常陸国総社の茅の輪くぐり

堤防はサイクリングロードとなっており、背後には筑波山が見えるのですが今回は残念ながら見ることが出来ませんでした。

高速道路常磐道の下を過ぎるとサイクリングロードとお別れし、石岡駅を目指します。常陸の国の一ノ宮「常陸国総社」でお参り後、まち蔵藍経由石岡駅到着です。

予定通り14時前に到着。皆様のご協力に感謝します。

松崎 寛 (記)